

〈様式 2〉

承認番号 2203

申請日 令和 4 年 6 月 14 日

承認日 令和 4 年 7 月 5 日

### 臨床研究計画書

課題名	マインドフルネスと抑うつに関連 「気付きと注意」と抑うつの変化に着目して
研究者 (氏名、所属、職名)	◎松永奈々(臨床心理士) 平木文代(医師) 原陵輔(1 病棟看護師)
目的	①当院におけるマインドフルネスプログラムにおいても、抑うつの変化が見られるか検証する。②抑うつの変化に伴い、「気付きと注意」においても変化が見られているか検証する。③プログラム開始前と開始後で、「気付きと注意」と抑うつ気分の点数の変化とで相関が見られるかを検証する。④抑うつの中でも認知的な抑うつに比べて、身体的・感情的な抑うつにおいて、より「気付きと注意」との関連が見られるかを検証する。
方法	研究デザイン : 量的関連性研究 データ収集方法 : プログラム開始前後の心理検査 データ分析方法 : 統計学的分析 倫理的配慮 : 研究への参加については自由意思とし、データについても個人 の特定が不可能であるよう匿名化を図る。また当院の臨床倫理に関する委員 会の承認を得た上でオプトアウト形式にて示す。
期待する結果(効果)	まず、当院におけるマインドフルネスプログラムが先行研究に倣い抑うつ低 減の一助となっているかを検討することは、当院でのプログラムの質を保証 する上で非常に重要なことであると考えます。その上で、マインドフルネスの 介入において、どのような要因がどのような抑うつ症状の低減に繋がってい るかを検討することは、今後マインドフルネスと抑うつに関連のメカニズム を解明していく上での一助となると考えます。
結果の公表	①学会 ②論文等 (紙面にて) ◎③院内研究発表 ④その他 ( )
研究対象者	16 名
研究期間	開始 : 令和 2022 年 6 月 終了 : 令和 2022 年 8 月
問い合わせ先	聖ルチア病院 電話 : 0942-33-1581 研究責任者 松永奈々 病院長 大治 太郎